

日時：2016年3月5日(土)

13:30～17:00

会場：学習院大学中央教育研究棟 12階

国際会議場 (JR山手線「目白」下車5分)

プログラム

13:30～13:45 趣旨説明

13:45～14:45 第1部 講演

- ・「東アジアの大衆文化共有史と現在地点に関する試論」
境真良 (国際大学 GLOCOM 客員研究員)
- ・「台湾における日本児童文学の翻訳受容史からみる子どもの
日本イメージ形成～日本コンテンツ文化の受け入れ意識の芽生え
につながる要素とは～」
張桂娥 (東呉大学日本語学科専任副教授)

15:00～16:00 第2部 研究発表

- ・「歴史コンテンツにみるイメージの歴史的展開」
玉井建也 (東北芸術工科大学芸術学部専任講師)
- ・「韓国における「文化原形」コンテンツ政策について」
辻大和 (学習院大学東洋文化研究所助教)

16:15～17:00 第3部 総合討論

- ・講演・研究発表に対するコメント
堀内淳一 (皇學館大学文学部准教授)
戸田千速 (東京大学大学院教育学研究科博士課程)
- ・総合討論

司会 海老根量介 (学習院大学東洋文化研究所助教)

参加費
無料・
申込不
要

主催：社団法人昭和会館研究助成事業「日本・中国・韓国における歴史認識形成に及ぼすコンテンツの比較研究」プロジェクト (学習院大学東洋文化研究所)

連絡先：学習院大学東洋文化研究所

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1 (学習院大学内北 1 号館 4 階)

TEL: 03-3986-0221 (内線 6360) FAX: 03-5992-1021

E-mail: ori-off@gakushuin.ac.jp

URL: <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc/index.html>



東アジアにおける「コンテンツ」イメージ